西胆振地域連携研修･法人内研修　実施報告書

研修名	令和５年度入社職員フォローアップ研修（6 ヶ月編）

対象者	令和５年度新人研修受講の職員
日　程	令和５年 11 月 16 日（木）
会　場	高齢者ケア研修センター　財田の杜

研修のねらい
入社から６ヶ月が経過した中で新人研修で習得した知識や技術を確認する機会とし､介護職員として更に実践力を高めることができるようフォローアップします。また、参加者個々が、仕事の内容や状況を相互に情報交換し、互いの理解を深める中で自己や仕事に対する悩みや戸惑いを払拭し、仕事に対する姿勢、仕事へのモチベーションを高める機会とします。

研修プログラム				
１日目				
時間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
9:00～10:30（90 分）	リスクマネジメント【事故防止編】※ZOOM	講義演習	来夢の杜大宮）杉谷施設長	事故はいつ、どこで、起きるかわからず 100%防げるものではありませんが、減らすことは可能です。起こり得る事故をあらかじめ予想し、事故が起きないよう、日頃から「備える」リスクコントロールを中心に学びます。
10:40～12:10（90 分）	リスクマネジメント【苦情対応編】	講義演習	DS）ふる里の丘工藤所長	介護サービスを提供している中で苦情が発生する可能性は常にあります。この可能性をなるべく下げて苦情を未然に防止するポイントや発生時の適切な対応方法等について、事例をもとに実技演習を通して学びます。
13:00～14:30（90 分）	適切な食事の姿勢と食事介助	講義演習	幸清会）佐々木言語聴覚士	自力での食事摂取が困難な方への基本的な食事介助方法や姿勢のポイント、認知症のある方への適切な食事支援を実技演習を通して学ぶ。
14:40～16:00（80 分	高齢者の食事と栄養管理		幸豊の杜成香）山本管理栄養士	生きていくために日々欠かせないだけでなく、大きな楽しみでもある食事について、必要な栄養素や形態別の食事、栄養マネジメントなど高齢者介護において必要な栄養知識について学ぶ。

研修の様子
令和５年度に採用された職員が参加。入社から６ヶ月を振り返り自分たちの習得した知識や技術を再確認した。適正な食事姿勢と介助の科目では実技演習を中心に重要なポイントについて学んだｄ。各研修科目について理解を深め、現場での実践力の向上につながるよう真剣に取り組み、次回１年後のフォロ-アップ研修では、各自さらにレベルアップしていることを目標に研修を終えている。